

平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社シイエム・シイ
 コード番号 2185 URL <http://www.cmc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐々 幸恭
 (氏名) 成田 克己

TEL 052-322-3351

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	9,925	△7.7	348	△60.4	394	△56.3	167	△57.9
24年9月期第3四半期	10,752	33.4	882	—	902	—	397	—

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 284百万円 (△25.4%) 24年9月期第3四半期 381百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	74.58	73.59
24年9月期第3四半期	177.03	176.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	11,793	8,677	73.5
24年9月期	12,107	8,528	70.4

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 8,672百万円 24年9月期 8,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	70.00	70.00
25年9月期	—	0.00	—		
25年9月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,350	△4.2	710	△42.3	763	△40.5	348	△34.3	155.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期3Q	2,243,600 株	24年9月期	2,243,600 株
25年9月期3Q	278 株	24年9月期	278 株
25年9月期3Q	2,243,322 株	24年9月期3Q	2,243,350 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景に弱い動きで推移していたものの、年明け以降、着実な持ち直しの動きが見られております。先行きについても、輸出の持ち直しや経済対策、金融政策の効果が発現するなかで、次第に景気回復へ向かうことが予想されます。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

このような経済環境のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、9,925百万円(前年同期比826百万円減、同7.7%減)、営業利益は348百万円(前年同期比533百万円減、同60.4%減)、経常利益は394百万円(前年同期比508百万円減、同56.3%減)、四半期純利益は167百万円(前年同期比229百万円減、同57.9%減)となりました。

これをセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(マーケティング事業)

インターナル・マーケティングは、自動車関連分野における技術教育施策案件や商品教育施策案件、及び業務支援システム案件の減少、金融関連分野における業務支援施策案件の減少の影響などにより、売上高は1,072百万円(前年同期比151百万円減、同12.4%減)となりました。

エクスターナル・マーケティングは、自動車関連分野におけるブランド浸透施策案件の増加、医療関連分野におけるスマートデバイス対応の販促案件の増加、住宅関連分野における販促物制作案件の増加、販促イベント案件の増加などがあり、売上高は917百万円(前年同期比225百万円増、同32.7%増)となりました。

カスタマーサポート・マーケティングは、工作機械分野における使用説明書の案件増加があったものの、自動車関連分野において前期好調であった修理書について案件の減少などがあり、売上高は5,434百万円(前年同期比640百万円減、同10.5%減)となりました。

トータルプリンティングは、修理書・使用説明書の印刷が減少し、売上高は1,134百万円(前年同期比83百万円減、同6.9%減)となりました。

その他については、コンビニエンスストア売上、丸星株式会社の業務委託等があり、売上高は357百万円(前年同期比21百万円増、同6.3%増)となりました。

これらの結果、マーケティング事業の売上高は8,916百万円(前年同期比629百万円減、同6.6%減)、営業利益は498百万円(前年同期比522百万円減、同51.2%減)となりました。

(システム開発事業)

ソフトウェア受託開発を主力とするシステム開発事業は、主要なお取引先からの受注案件の減少にともない、売上高は1,008百万円(前年同期比197百万円減、同16.4%減)、営業損失は15百万円(前年同期は営業損失5百万円)となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より314百万円減少し、11,793百万円(前連結会計年度末比2.6%減)となりました。これは主として、たな卸資産の増加359百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少471百万円、現金及び預金の減少214百万円によるものであります。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より462百万円減少し、3,115百万円(前連結会計年度末比12.9%減)となりました。これは主として、流動負債のその他の増加188百万円があったものの、未払法人税等の減少423百万円、賞与引当金の減少214百万円によるものであります。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末より148百万円増加し、8,677百万円(前連結会計年度末比1.7%増)となりました。これは主として、為替換算調整勘定の増加73百万円によるものであります。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年5月8日公表の「第2四半期累計期間業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正にともない、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更により、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,599,731	3,385,280
受取手形及び売掛金	2,355,630	1,884,041
たな卸資産	701,788	1,061,296
その他	368,421	453,707
貸倒引当金	△2,772	△2,509
流動資産合計	7,022,799	6,781,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	521,970	493,733
機械装置及び運搬具(純額)	389,763	364,938
土地	1,790,655	1,790,655
その他(純額)	90,995	91,689
有形固定資産合計	2,793,384	2,741,017
無形固定資産		
のれん	961,963	824,540
その他	330,843	350,322
無形固定資産合計	1,292,806	1,174,862
投資その他の資産		
その他	1,009,588	1,106,507
貸倒引当金	△11,148	△10,905
投資その他の資産合計	998,440	1,095,602
固定資産合計	5,084,631	5,011,482
資産合計	12,107,431	11,793,299
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	953,175	869,172
未払法人税等	439,805	16,068
賞与引当金	468,920	254,178
役員賞与引当金	96,942	54,729
その他	662,715	851,338
流動負債合計	2,621,558	2,045,486
固定負債		
退職給付引当金	695,247	787,121
役員退職慰労引当金	258,291	281,879
その他	3,470	1,405
固定負債合計	957,010	1,070,406
負債合計	3,578,569	3,115,893

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,770	529,770
資本剰余金	443,430	443,430
利益剰余金	7,565,289	7,593,921
自己株式	△488	△488
株主資本合計	8,538,001	8,566,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,035	63,095
為替換算調整勘定	△31,175	42,492
その他の包括利益累計額合計	△9,140	105,588
少数株主持分	—	5,182
純資産合計	8,528,861	8,677,405
負債純資産合計	12,107,431	11,793,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	10,752,232	9,925,470
売上原価	7,400,080	7,082,127
売上総利益	3,352,152	2,843,342
販売費及び一般管理費	2,470,002	2,494,435
営業利益	882,149	348,906
営業外収益		
受取利息	1,582	1,387
受取配当金	1,247	1,839
受取保険金	3,191	8,923
作業くず売却益	11,699	11,299
為替差益	—	11,888
その他	9,594	11,377
営業外収益合計	27,315	46,716
営業外費用		
支払利息	434	298
固定資産除却損	224	364
為替差損	4,467	—
その他	1,382	27
営業外費用合計	6,509	690
経常利益	902,955	394,933
特別利益		
固定資産売却益	9,256	3,723
その他	35	—
特別利益合計	9,291	3,723
特別損失		
固定資産売却損	144	164
減損損失	7,352	—
投資有価証券評価損	1,827	—
特別損失合計	9,324	164
税金等調整前四半期純利益	902,922	398,491
法人税、住民税及び事業税	564,266	308,679
法人税等調整額	△58,476	△77,018
法人税等合計	505,790	231,660
少数株主損益調整前四半期純利益	397,132	166,831
少数株主損失(△)	—	△476
四半期純利益	397,132	167,307

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	397,132	166,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,814	41,060
為替換算調整勘定	△24,304	76,963
その他の包括利益合計	△15,490	118,023
四半期包括利益	381,642	284,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	381,642	284,444
少数株主に係る四半期包括利益	—	410

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	マーケティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,545,824	1,206,408	10,752,232	—	10,752,232
セグメント間の内部売上高 または振替高	7,796	13,716	21,513	△21,513	—
計	9,553,620	1,220,125	10,773,745	△21,513	10,752,232
セグメント利益または損失 (△)	1,020,484	△5,410	1,015,074	△132,924	882,149

(注)1 セグメント利益または損失の調整額△132,924千円には、セグメント間取引消去4,498千円、のれんの償却額△137,423千円が含まれております。

2 セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	マーケティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,916,749	1,008,720	9,925,470	—	9,925,470
セグメント間の内部売上高 または振替高	8,722	25,426	34,148	△34,148	—
計	8,925,471	1,034,146	9,959,618	△34,148	9,925,470
セグメント利益または損失 (△)	498,391	△15,661	482,730	△133,823	348,906

(注)1 セグメント利益または損失の調整額△133,823千円には、セグメント間取引消去3,600千円、のれんの償却額△137,423千円が含まれております。

2 セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正にともない、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更により、セグメント利益または損失に与える影響は軽微であります。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。